

社会福祉法人

横浜市社会福祉協議会 職員採用案内（正規職員・主事）



ほら、  
よこはまは  
あったかい



## ■ 横浜市社会福祉協議会（横浜市社協）とは

- 私たちは、横浜市内の地区社会福祉協議会、自治会町内会、民生委員・児童委員等の地域組織、社会福祉関係機関・団体・施設、ボランティア団体等で構成されている協議体の組織です。
- 少子高齢化の進展とともに、これまでの制度や仕組みでは対応できない新たな福祉課題が顕在化しています。私たちは「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念に基づき、地域住民とともに、市民一人ひとりのニーズを受け止め、身近な地域で見守り、支えあえる地域づくりを進めています。

## ■ 活躍する現場

- 私たちは、横浜市内で、個別支援から地域支援まで包括的な事業を行っています。主事職は、その中でさまざまな職務にチャレンジすることができます。

社会福祉事業の調査、企画、情報提供及び連絡調整

ボランティア活動の振興等、地域福祉を推進するための業務

福祉・保健人材の開発、育成

高齢者や障害者の権利擁護相談等の業務

地域ケアプラザでの相談調整および福祉活動支援業務

老人福祉センター等の運営管理業務

障害者支援センターでの障害者及び家族等への支援業務

法人運営、庶務・経理等の一般事務等

## Interview 01

### みんなで地域を良くする、 みんなで一緒に地域を支える。

横浜市金沢区社会福祉協議会

## 長谷川 広貴 (2017年入社)

### Q1 現在の業務について

地域支援と経理事務を担当しています。地域支援を進めるにあたり、地域の方々と情報収集や生活課題の把握を行い、課題を分析し、解決に向けた取り組みを進めています。区内6地区を担当し、区役所や地区内の地域ケアプラザと連携しながら、支援を進めています。

### Q2 入社したきっかけ

大学では社会福祉を学びました。孤独死等の社会問題から地域福祉に興味をもち、4年次の演習では社協で実習を行いました。その中で、地域を支える仕事に魅力を感じ、自分も社協職員になりたいと考え、応募しました。

### Q3 1年目の思い出

送迎サービスや移動情報センター事業を担当しました。事業担当として、年間の予定に沿って、仕事を進めることは初めての経験でした。そのなかで、事務を計画的に、正確に行うことの大切さを学びました。この経験は、現在担当する経理の業務でも生きています。

### Q4 横浜市社協の魅力・やりがい

横浜市社協は幅広く事業を展開していますが、皆が「地域を住み良くしたい」という思いを強く持ち仕事をしています。最終的に目指すところが共有されているのが、本会の魅力だと思います。そのような環境で仕事ができることが楽しいです。社協の業務は結果が目に見えづらいですが、だからこそ、やりがいがあると思います。



### 【ある一日の流れ】

8:45 出勤、朝礼、伝票処理  
10:00 事業(講座)準備、講師や区役所との調整。  
12:00 昼食  
13:00 打合せ準備、地域へ移動  
14:00 地区社協の定例会議に参加し、情報提供等を行う。活動の進捗確認や課題を共有し、今後の進め方を協議検討する。  
16:00 事務処理  
17:15 来客対応  
退勤



## Interview 02

### 支援を必要とする人の 権利を守り、寄り添う。

横浜生活あんしんセンター

## 赤熊 真理子 (2016年入社)

### Q1 現在の業務について

二つの事業を担当しています。一つ目の成年後見事業では、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利擁護を目的に、法人後見人の実務として個別支援を行っています。二つ目の市民後見人養成・活動支援事業では、地域における権利擁護を市民参画で進めるため、市民後見人の養成と活動支援を行っています。

### Q2 入社したきっかけ

社会人1年目は病院の医療ソーシャルワーカーとして就職しました。病院でも患者への支援を経験しましたが、次第にもっと広く福祉を学び、地域福祉に携わりたいという思いを抱きました。横浜という地域への憧れもあり、横浜市社協に応募しました。

### Q3 1年目の思い出

担当業務は関連制度の知識が必要で、覚えることが沢山あり、苦労しました。ただ、本会には新人育成リーダー制度という育成体制があり、わからないことがあれば先輩職員に相談しながら業務にあたることでできたため、不安を抱えこまずに1年を過ごすことができました。

### Q4 横浜市社協の魅力・やりがい

個別支援を行うなかで、親族がいない利用者から「あなたがいてくれてよかった」と言っていた時はとても嬉しかったです。事業を通じて、支援を必要とする方に対して寄り添えることが魅力だと思います。



### 【ある一日の流れ】

8:45 出勤、朝礼  
9:00 法人後見ケース訪問。本人状況確認やケアマネとの情報共有・調整を行う。  
12:00 昼食  
13:00 市民後見人養成講座の資料づくり、連絡調整。  
15:00 センター会議(課内会議)  
16:00 市民後見人受任者面談。ケース記録・活動状況を確認する。  
17:15 退勤



## Interview 03

### 地域の最前線で、 緑の下の力持ちになる。

横浜市寺尾地域ケアプラザ

## 武藤 絢美 (2013年入社)

### Q1 現在の業務について

生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターをしています。高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、地域で支えていく仕組みづくりを進めています。最近では、「近くで買い物ができたらいい」という地域の声を受けて、自治会や地元の作業所の協力を得て、地域の中で出張販売による買い物支援が実現しました。

### Q2 入社したきっかけ

会社説明会で、先輩職員の「社協は地域支援を頑張っている人の緑の下の力持ちになれる」という言葉に感銘を受け、自分も一緒に働きたいと思ったことがきっかけでした。

### Q3 1年目の思い出

最初の職場は老人福祉センターでした。入社するまで地方で生活していたため、施設を利用する都市部の高齢者の生活に驚きました。地域の方々が、施設で趣味の活動にいそむ姿を見るのが新鮮でした。

### Q4 横浜市社協の魅力・やりがい

私たちの仕事は、地域と実践的に関われることと、職員全員が地域のことを真剣に考えており、このような意識の高い仲間たちと一緒に仕事ができることが魅力です。地域住民とともに困りごとに向き合い、解消や軽減に結び付けられた時にやりがいを感じます。自分で考えて、自分で気づいたことが、誰かの役に立つ。そこに一番の楽しみがあります。



### 【ある一日の流れ】

8:45 出勤、施設開錠、朝礼  
9:30 生活支援コーディネーター連絡会に参加。一ヶ月の取組報告や事例検討。  
12:00 「出張販売」の様子を見に行く。  
13:00 昼食  
14:00 自治会長との打合せ  
16:00 記録作成  
連絡調整  
17:15 退勤



## お問い合わせ先

---

- 住 所 〒231-8482  
神奈川県横浜市中区桜木町1丁目1番地  
横浜市健康福祉総合センター7階  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 総務部総務課 採用担当  
電話 045-201-2096 (代表)
- URL <http://www.yokohamashakyo.jp/>

横浜市社協 採用案内

検索



採用情報に関することは、  
まずは横浜市社会福祉協議会のホームページ「採用案内」をチェック